

# 歌声重ねて20年

## 未来へ奏でる ハーモニー



歌手・あんべ光俊さん作詞作曲「イーハトーヴの風」を皆で合唱。小中学生もこの日のために一生懸命練習しました



普代中吹奏楽部も3曲を披露しました



友情出演の皆さんに感謝の花束を贈呈



会場の皆さんも笑顔で拍手を送ります



口を大きく開け、元気に歌う小学生



横笛、二胡、ギターの三重奏を披露

普代村、野田村、田野畑村の3村の合唱団で構成する「コーラスライオット風(森田真奈子代表)」の記念すべき20回目の定期コンサートが11月1日、自然休養村管理センターで開かれ、心温かい歌声で、優しさあふれるハーモニーを響かせ、約200人の観客を魅了しました。

### ♪小中学生も参加、全25曲披露

コンサートは午後2時に会場。オープニングでは20周年を記念する20個のキャンドルをステージ脇に飾り、「遠い日の歌」を合唱。森田代表は「20周年にして初めて小中学生と共に響きあえる新たな喜びのコンサートとなりました。皆さんの皆さまに感謝とお礼を申し上げたい気持ちでいっぱいでございます」とあいさつしました。

ステージは6部構成で全25曲を披露。コーラスライオット風は「しゃぼん玉」「赤い靴」などを披露したほか「さんてつでんしゃのうた」、宮沢賢治の「破れし少年の歌へる」など12曲で美しいハーモニーを奏で、会場からは大きな拍手が寄せられました。



「さんてつでんしゃのうた」を披露する皆さん

第7回目から出演している混声合唱団「北声会」(盛岡市)や、普代中の全校生徒による合唱、小中学生や観客を交えての「イーハトーヴの風」の合同合唱も行われ、会場一体となった歌声が響き渡りました。

また、コーラスライオット

風の構成団体である「てぼかい合唱団(森田真奈子代表)」の発足当時の普代中音楽教諭だった松場道子さん(盛岡市在住)と夫喜実男さん、娘響子さん親子も、指揮やピアノ演奏などで友情出演。これま

### ♪始まりは普代小PTA活動

コーラスライオット風に所属する「てぼかい合唱団」の始まりは昭和58年、普代小学校の文化部(初代部長・森田真奈子)の活動から始まりました。

当時の文化部では「宮沢賢治の世界に触れよう」と活動を始め、賢治と音楽は切り離せないものがあることを学び合唱団を結成。ふるさとの言葉を大切に賢治の姿より普代の方言で「不器用」を意味する言葉から「てぼかい合唱団」と命名しました。

で同合唱団を指導してきた千葉久美子さん(盛岡市在住)も指揮を務めました。

ステージの最後には、普代中吹奏楽部が「崖の上のポニー」(演歌メドレー)などを披露しました。

「コーラス・ライオット風の『ライオット』は英語で『一揆』の意味を持ちます。かつて田野畑・普代・野田の3村の先人たちが巻き起こした百姓一揆という旋風を想起させるための命名でした」と森田さんは語ります。

発足年度は文集、会報、歌の集いに加え、宮沢賢治作「ツエねずみ」を学習発表会で発表しました。

活動はさらに広がりを見せました。「この地域に合唱の風を吹き込もう」と、てぼか

そして平成元年からこれまでの20年間、コーラスライオット風は3村の合同合唱団として、持ち回りで定期コンサートを開催し、地域を巻き込み、大きな活動となってきました。

### ♪「これからも「風」の友らと

20周年記念コンサートには多くの皆さんから温かいメッセージが寄せられました。

結成当時、普代小の教諭だった岩田昌子さんは、「産みの苦しみも大変なものです。それをさらに育て発展させた偉業に心から拍手を送ります。まさに『ライオット』そのもの、言葉では言い表せないエネルギーを感じます。県北の海辺の小さな活動は、野田・田野畑を巻き込み、内陸にも広がりました。音楽の持つ力と人が人を思う力が、時空を超えるすてきな光りとなっているのですね」。

「20年にわたり、宮沢賢治の土臭くて純真な感性を村民と共有し続けていることは、特筆に値すると考え心から敬意を表します。今日を新たな一歩とし、これからも村民に愛される歌声を響かせてくださいますよう期待いたします」とつづつています。

普代小の日沢栄子校長は、

普代小学校PTA文化部から始まった小さな活動は、音楽の持つ力が「風」となり、地域を巻き込み、小さな村を越え、そして世代を超えこれまで発展してきました。

その活動は宮沢賢治の地域おこしの思想と、「風」をテーマに未来へと続きます。

### コンサートに当たって

未熟なまま、てぼかいなまま歌い続けて20年。北声会の皆さま、先生方、風の仲間として駆け付けていただき、この風の集う触れ合う喜びを私たちはどのようにお伝えしたらよいか分かりません。

風は共生の、共鳴の世界を作ります。宮沢賢治は大自然・人・動植物、アリのよう小さな生き物でも光や雲に媒介され、共に生きる共生の世界というものを唱えています。私たちもこの自分たちの立っている土の上に共生のカタチを実像として創って行きたいと私自身強く望んでいます。

この共生の思想は21世紀最大の課題であると思います。

コーラスライオット風  
代表 森田真奈子